

## 寅さん歩 その 23

### 東京の博物館めぐりー6

中央区ー3

平野 武宏



今回も中央区の博物館の続きです。ここで博物館とは記念館・資料館・展示館等を総称します。中央区では日本橋、銀座・京橋、月島のエリアごとに地域の文化資源として「まちかど展示館」を整備・開設しています。エリアごとに季刊誌が発行されていて、写真右上は日本橋編のものです。中央区全体の展示館マップも掲載。既に紹介した「小津史料館」と「くすりミュージアム」は日本橋エリアの「まちかど展示館」です。30か所(令和2年開館予定4館含む)ある「まちかど展示館」から寅次郎の好みで選び、訪問しました。さらに興味のある方は「中央区まちかど展示館」又は各館のホームページでご覧下さい。また、記載の休館日以外の臨時の休館日もありますので確認願います。いずれも入場は無料です。「まちかど展示館を巡っている」と言うとお店では親切に対応してくださり、店内の撮影もOKでした。最寄り駅は代表例と出口です。

東京2020オリンピック聖火リレー神奈川コース バーチャルウォークの途中経過も報告します。

【楊枝資料館】中央区日本橋室町1-12-5 最寄駅 銀座線 三越前駅A1

1704年(宝永元年)創業の日本で唯一の楊枝専門店 株式会社日本橋さるやです。季刊誌でのキャッチフレーズは「”クロモジ“に宿る職人技と江戸の粋」とのことです。日本橋から「むろまち小路」(反対側は三越本店)を右折、二本目の小路を左折するとあります(写真下左)。写真下右は店内で、開館は月～土曜日(祝日を除く)10時～18時です。



〔伊場仙 浮世絵ミュージアム〕 中央区日本橋小舟町 4-1

最寄駅 銀座線 三越前駅 A6

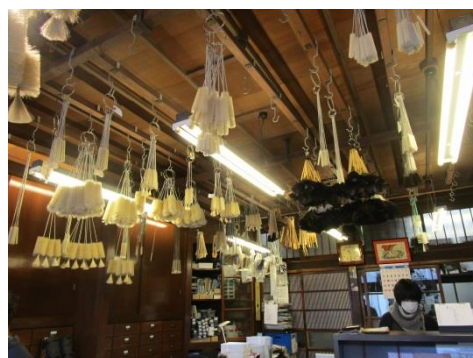
株式会社伊場仙で「楊枝資料館」の先の首都高速をくぐった「本町二丁目」信号の先にあります。1590年(天正18年)徳川家康と共に江戸にのぼった浜松の商人 伊場屋勘左衛門によって創業。江戸時代は初代歌川豊国をはじめ、国芳・広重の浮世絵師の版元として浮世絵、うちわ、扇子などを取り扱い、浮世絵のうちわを売り出し、「伊場仙」の前身である「伊場屋」の名を江戸市中に広めたとのこと。開館は年末年始を除く毎日 8時～20時(店舗は月～金曜日、10時～18時)です。



〔江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館〕 中央区日本橋小伝馬町 5-19

最寄駅 日比谷線 小伝馬町駅 3番

株式会社江戸屋で大伝馬本町通り(旧日光街道本通り)に面してあります。東京都の伝統工芸品に指定されている「江戸刷毛」が展示されています。開館は月～金曜日(祝日・年末年始除く)、9時～17時です。

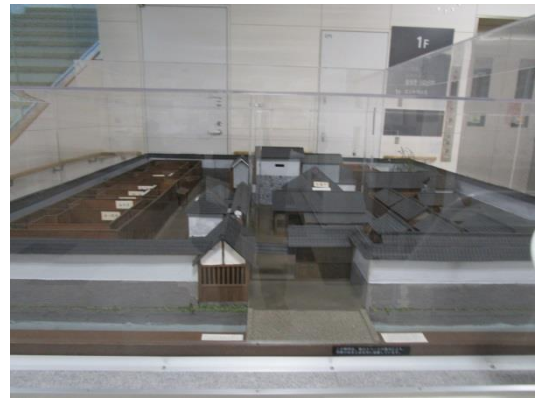


**〔小伝馬町牢屋敷展示館〕** 中央区日本橋大伝馬町 5-19

最寄駅 日比谷線 小伝馬町駅 4 番

「伝馬町牢屋敷」が存在した地に設置された「十思スクエア別館内」(写真下左)にある展示スペースで牢屋敷の模型(写真下右)が再現されています。

広大な牢屋敷に驚きました。ここでは吉田松陰、橋本左内、高野長英、渡辺華山などの政治犯や八百屋お七、鼠小僧次郎吉などの有名人が収監されていました。開館は月～土曜日(祝日・年末年始を除く)、9時～20時です。



隣の「十思公園」には吉田松陰終焉の地の碑、牢屋敷の石垣、時の鐘があります。寅さん歩 174 お江戸の時の鐘-1 をご参照ください。

**〔染物展示館・虎の檻〕** 中央区日本橋浜町 2-45-6

最寄駅 新宿線 浜町駅 A2

有限会社高虎商店(創業者は高橋虎雄)で浜町公園の前の通りに面し、江戸っ子が好む洒落の効いた染め物を展示しています。開館は月～土曜日(祝日・年末年始等を除く)、9時～18時(土曜日は17時)です。



**〔江戸ほうき展示館〕** 中央区京橋 3-9-8 最寄駅 浅草線 宝町駅 A3 番



首都高速の手前右手にある株式会社白木屋中村伝兵衛商店で江戸ほうきを展示。昔ながらの手づくりです。開館は月～土曜日(祝日・年末年始を除く)、10時～19時です。



**〔足袋の博物館〕** 中央区新富 2-2-1 最寄駅 有楽町線 新富町駅 2 番



歌舞伎や狂言・神社用の足袋から昔の鹿革の足袋など足袋の変遷もわかる展示している 有限会社大野屋総本店です。

開館は月～金曜日(祝日・年末年始を除く)、9時～17時です。



黄色の足袋は歌舞伎で「助六」を演じる時のものとのこと。

**〔のれん・提灯・下絵の展示館〕** 中央区築地 6-5-5

最寄駅 日比谷線 築地駅 1 番

築地本願寺脇(対面は築地場外市場)を進み、〔築地六丁目〕信号を左折にある有限会社津多屋商店で、昭和初期の提灯や暖簾、千社額などを通して粋な江戸文字が見られます。開館は月～土曜日(祝日、年末年始を除く)、7時30分～17時30分です。



【石川島資料館】 中央区佃 1-11-8 最寄駅 大江戸線 月島駅 6 番

中央大橋南詰の「リバーシティ 21」の「ビアウエスト スクエア」1 階(写真下左)にあります。写真下中は室内撮影が出来ないので入口で、写真下右はパンフレットです。小さな展示室ですが株式会社 IHI (旧石川島播磨工業株式会社)が設けた石川島の歴史資料館です。前身の東京石川島造船所(民間初の外輪式の蒸気船「通運丸」を建造)の創始者は平野富二と知りました。開館は毎週水曜日と土曜日(12 月 29 日～1 月 4 日を除く)、10 時～12 時、13 時～15 時です。



「中央区まちかど展示館」には各エリアの祭の歴史や、神輿などの展示があります。写真下は佃一丁目町会の「佃まちかど展示館」で、大きな神輿や獅子頭が展示、通年開館されています。展示館の脇は「佃島渡船場跡」



(佃一丁目町会)で江戸時代初期に家康に招かれ摂津から来た漁師達が埋め立てた佃島と対岸との「佃の渡し」で、1964 年(昭和 39 年)佃大橋完成で廃止されました。

また、元祖 佃煮屋「天安」が展示館の手前にありました。

【寄り道】玉ひで 親子丼 中央区日本橋人形町 1-17-10

最寄駅 日比谷線 人形町駅A2

1760年（宝暦10年）創業の行列のできる鳥料理の店です。甘酒横丁入口の対面にあります。お昼の部は11時30分～13時30分です。



写真左は親子丼(進化)1800円(鶏だしスープ付き)トロトロの卵の中のしゃもの肉は並んでも食べたい美味しさで、展示館を歩き回った自分へのご褒美です。

日本の親子丼発祥の地なので、寅さん歩-17 東京発祥之地めぐり(グルメ編-1)をご参照ください。

### 【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県コース(380km)と東京都コース(160km)のバーチャルウォークがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されました。

寅次郎、1月30日 神奈川県コースの箱根町をスタート、伊勢原市、小田原市、大磯町、平塚市、茅ヶ崎市、藤沢市を經由三崎市に向かい3月6日、三浦みさき海の駅(182km地点)に到着しました。この後は横須賀市へ向かいます。



神奈川県コースの後は東京都コースに挑戦し、7月24日の開会式を目指します。3月12日にはギリシャ オリンピアで聖火の採火式が無観客で行われたとのニュースがありました。でも予定のギリシャ国内の聖火リレーは新型コロナウイルス感染拡大を予防するため中止となりました。3月19日の首都アテネでの東京への引き継ぎ式は予定通り行つとの報がありますが、心配ですね。

しばらくは新型コロナウイルス感染拡大予防で例会が中止になりますので、マイコースのお散歩の距離を累計するバーチャルウォークを始めませんか。また、集団で歩かないYRコースを歩くのもよいですね。

次回は 東京 2020 聖火リレー-18(最終回) です。

平野 寅次郎 拝